

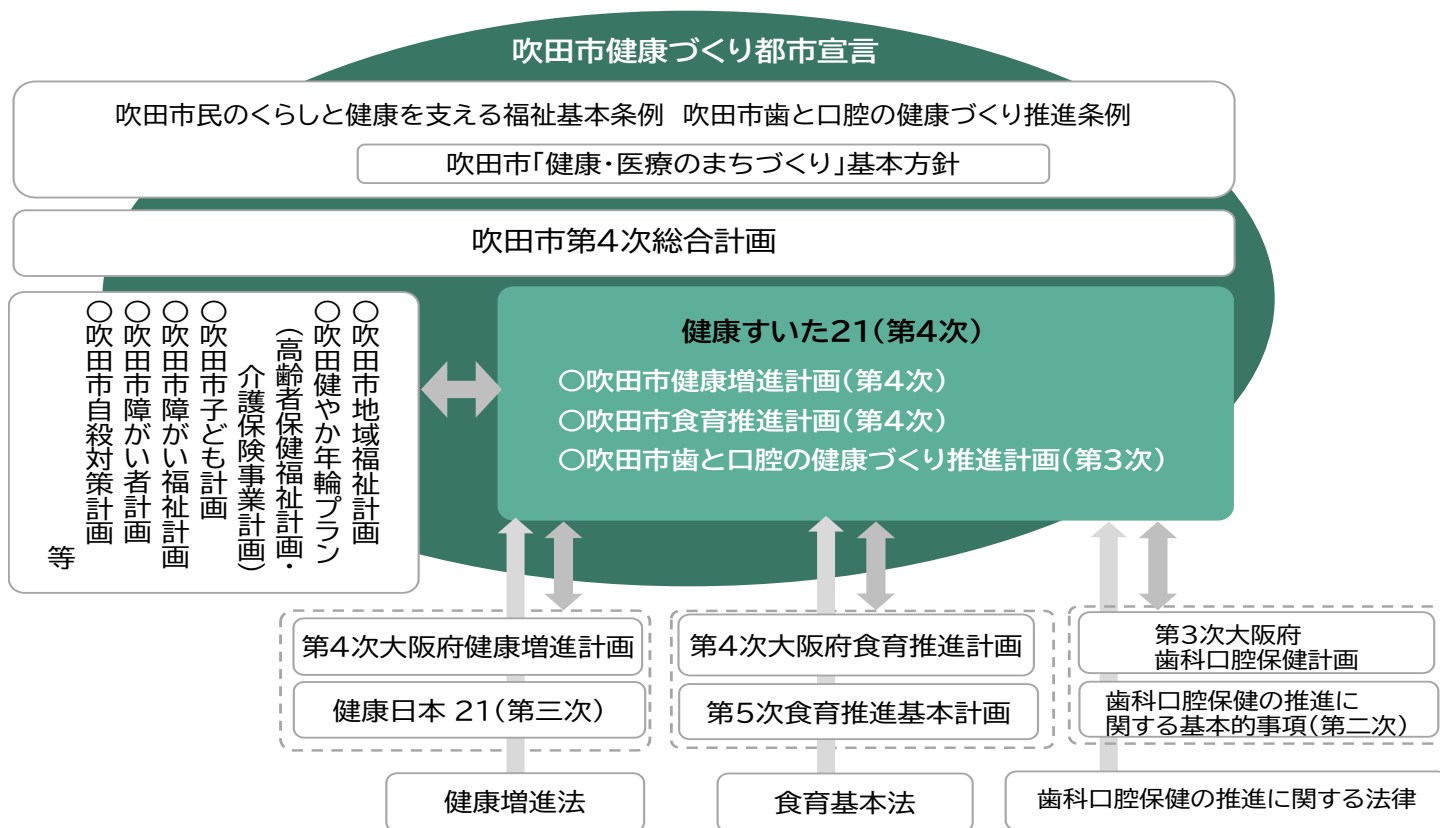
# 健康すいた21(第4次)骨子案

---

# 1 計画の概要

## 計画の趣旨・位置づけ

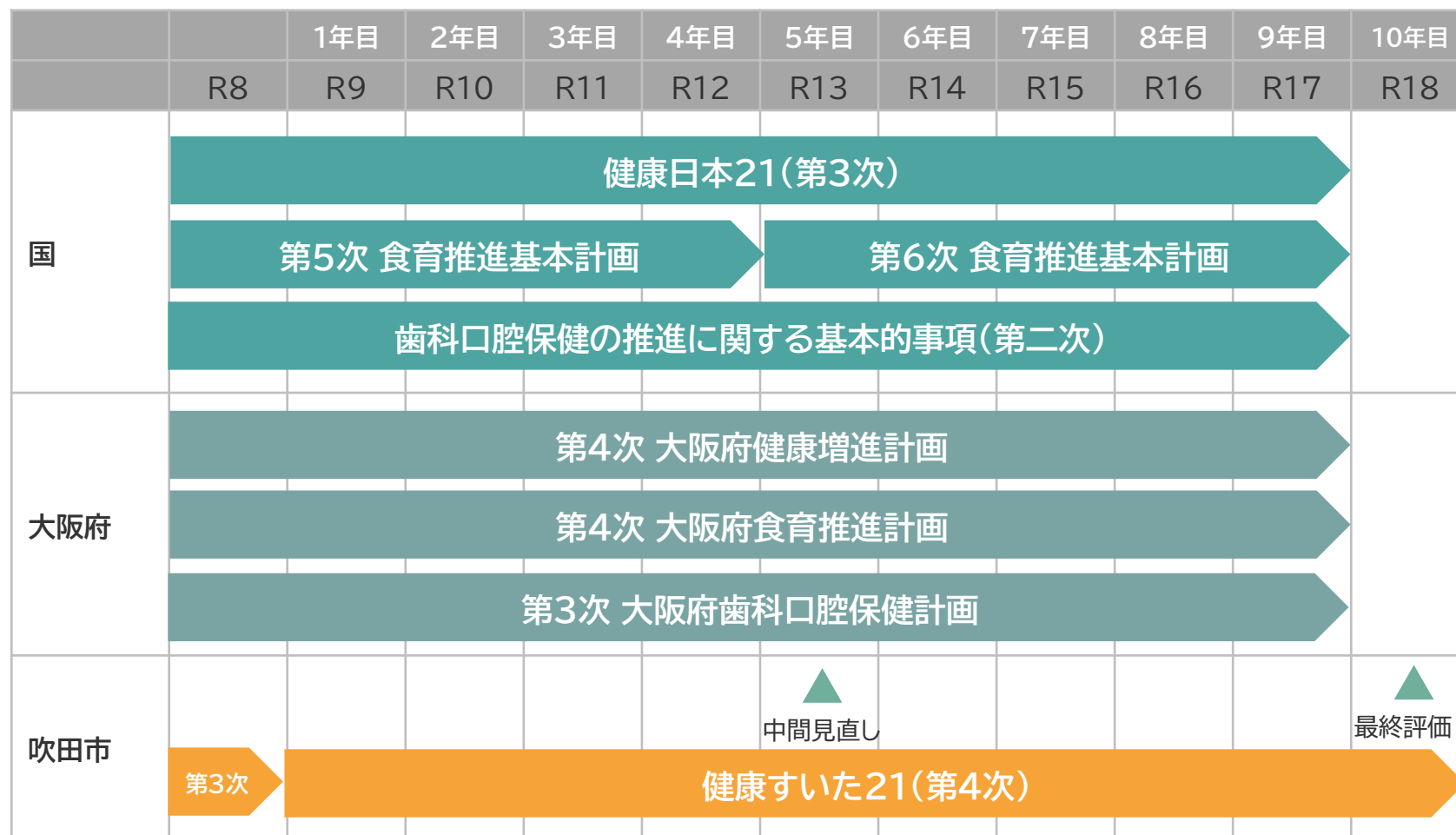
- 健康すいた21(第4次)は、以下の3つの計画を一体化した計画として策定する。
  - 吹田市健康増進計画(健康増進法)
  - 吹田市食育推進計画(食育基本法)
  - 吹田市歯と口腔の健康づくり推進計画(吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例)
- 国、府の計画や方針、本市の上位計画や関係する計画等との整合性を図った計画とする。



# 1 計画の概要

## 計画の期間

- ・健康に関する施策は、長期的かつ継続的に取り組むことが重要なことから、本計画は令和9年度(2027年度)～令和18年度(2036年度)までの**10年間を計画期間とする**。
- ・令和13年度(2031年度)に中間見直しを、令和18年度(2036年度)に最終評価を行う。



## 2 現行計画(第3次計画)の評価

### 計画の概要

#### 計画の期間

- ・令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)までの5年間。
- ・令和6年度に中間見直し(中間評価)を、令和8年度に最終評価を行う。

R4	R5	R6	R7	R8
健康すいた21(第3次)				
		中間評価		最終評価

#### 計画における新たな視点

- ・くらしにとけこむ健康づくりの推進
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により変化した人々の健康意識・生活様式の反映
- ・中核市移行に伴う、より身近な保健施策の展開
- ・次世代の健康づくりの支援充実

### 基本理念・目標

めざすべき  
将来像

自分らしく、笑涯、輝く

基本目標

- ・健康寿命の延伸と
- ・生活の質(QOL)の向上

基本方針

- ・全ての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防
- ・ライフステージ別の課題に応じた取組
- ・「楽しむ・輝く」をベースとした「くらし」にとけこむ健康づくり

分野別の  
取組



くらしにとけこむ  
健康づくり



食べる



動く・出かける



眠る・癒す



歯と口腔の健康



たばこ



アルコール







診てもらう

## 2 現行計画(第3次計画)の評価

### 計画の評価 (中間評価)

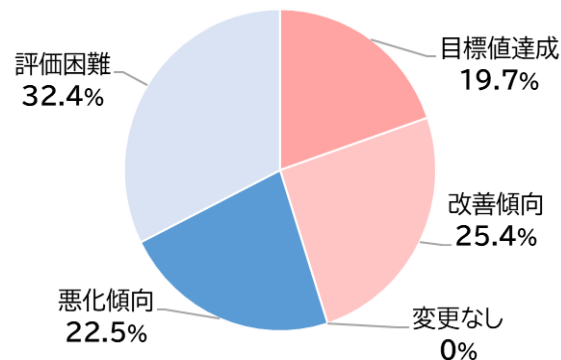
#### 目標値の達成状況

- ・中間評価の段階では、**全体の45.1%で改善(a及びb)が見られた。**
- ・分野別では、「 眠る・癒す」は7項目中5項目、「 歯と口腔の健康」は11項目中8項目、及び「 アルコール」は4項目中3項目が(a及びb)であり、改善傾向の割合が高く、「 診てもらう」は16項目中11項目が(d)であり、悪化傾向の割合が高い。

#### 重要業績評価指標(KPI)の達成状況

- ・健康寿命は、平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加は達成していないものの、健康寿命自体は延伸していることから、改善傾向と評価。
- ・健康上の問題による日常生活への影響について「ない」と回答した人の割合については、現時点で実績値が確認できないことから評価困難。

目標値の達成状況



評価指標	基準値	現状値	目標値	評価
	令和2年度	令和5年度	令和8年度	
① 健康寿命 (日常生活動作が自立している期間の平均)	男性 81.0 歳 女性 84.8 歳 【平成30年】	男性 81.5 歳 女性 85.4 歳 【令和3年】	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	b
② 健康上の問題による日常生活への影響について「ない」と回答した人の割合	71.5% 【令和元年度】	—	増加	—

### まとめ

- ・健診受診等の健康管理に関する指標で悪化傾向の割合が高く、**依然として生活習慣病予防に取り組む必要がある。**
- ・改善傾向の割合が高い分野においても、年齢・性別によっては悪化している指標が見られた。特に子供においてはコロナ禍以前と比較して、悪化している指標も複数見られることから、**引き続き、子供の頃から健康的な生活習慣を身につけることが重要である。**
- ・現在の健康状態は、これまでの自らの生活習慣や社会環境等の影響を受ける可能性が高く、次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があることから、**ライフコースアプローチ(胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり)を踏まえた健康づくりに取り組む必要がある。**

### 3 健康を取り巻く社会状況と課題

#### 社会状況

##### 少子高齢化の 進展



##### 地域のつながりの 希薄化



##### 価値観や ライフスタイルの 多様化



#### 課題

・医療・介護ニーズが今後ますます拡大するが、支援を担う人材の不足が深刻化している



・独居世帯の増加等により、孤独や孤立の心身の不調リスクが高まる

・地域のコミュニティの担い手が不足し、人との緩やかなつながりを保つ仕組みを維持することが困難になる

・健康への意識や優先度にも個人差が広がり、必要な支援につながりにくい人が増える可能性がある

・ニーズが複雑化することで、従来の支援では必要な人に届かない可能性がある

健康に影響する要因が複雑化する中で、従来の個人の努力に依存した健康づくりだけでは限界があることから、多様な主体と連携した上で、**社会全体で健康を支える環境を整える必要がある。**

## 4 第4次計画で重視する視点

社会情勢や本市の動向を踏まえ、以下の視点を新たに取り入れる。

NEW

### 1 Well-Beingの向上 (ウェルビーイング)



物質的な豊かさより、**人や社会とのつながりを通じて、こころの豊かさに幸せを実感するWell-Being**の考え方を重視し、身体だけではなく、精神的、社会的な健康も含めた健康を目指す。

強化

### 2 社会環境の質の向上



健康は個人の努力だけでなく、社会環境の影響を受けることから、**全ての人が健康的な行動を選択しやすいよう、社会環境の質の向上を図る。**

NEW

### 3 ライフコース アプローチを 踏まえた健康づくり



現在の健康状態はこれまでの生活習慣や社会環境等の影響を受けるとともに、次世代の健康にも影響を及ぼす可能性があるため、**胎児期から高齢期まで、生涯を経時的に捉えた健康づくり**の観点を取り入れる。

NEW

### 4 生活機能の維持・向上



健康で充実した生活を過ごすために、生活習慣病予防に加え、**日常生活を送るために必要な能力(生活機能)を維持・向上を図る。**

## 5 健康すいた21(第4次)の基本的な考え方

### 基本理念

- ・少子高齢化やライフスタイルの多様化が進む中で、心身の状態や年齢に関わらず、自分らしく、心豊かに暮らし続けられる環境の重要性が高まっている。
- ・こうした状況を踏まえ、本市の基本理念を次のとおり定める。

くらしにとけこむ健康づくりで  
しょうがい  
誰もが『自分らしく、笑涯、輝く』まちへ



日々のくらしの中に健康づくりが浸透し、市民一人ひとりが自身の価値観等を尊重されながら、主体的に生活を送ることで、「自分らしく、笑涯、輝く」ことができる社会の実現を目指す。

## 5 健康すいた21(第4次)の基本的な考え方

### 基本目標

・基本理念を実現するためには、全ての市民が心豊かに充実した人生を過ごすことが重要なことから、以下の2つを基本目標として位置付ける。

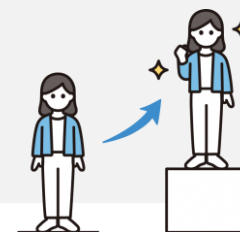
## 健康寿命の延伸

- ・介護や医療の手助けを必要とせず、自立した生活を送れる期間を延ばす(健康寿命の延伸)。
- ・健康寿命の延伸は、市民一人ひとりの生活の質の向上につながるだけでなく、医療費や介護費の負担軽減に寄与する。



## 生活の質(QOL)の向上

- ・身体だけでなく、精神的・社会的な満足度を高めることで、日々の生活の充実感と幸福感の向上を図る。



# 5 健康すいた21(第4次)の基本的な考え方

## 基本方針

### 1 全ての人の健康を支える社会環境づくり

- ・ 市民・地域・企業・研究機関等の多様な主体と連携し、地域全体で健康を支える環境を整備する。
- ・ 健康データの利活用やヘルスリテラシーの向上により、個人に適した健康づくりを支援する。
- ・ 人との緩やかなつながりを育み、心身の健康を支える環境を整備する。



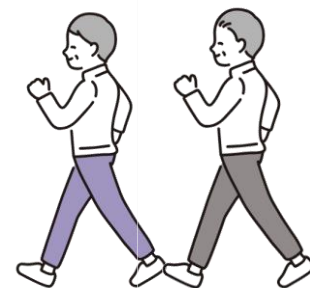
### 2 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

- ・ ライフステージに応じた切れ目のない健康支援を提供する。
- ・ 子供の健康的な生活習慣の形成を支援する。
- ・ 妊娠前からの健康づくり（プレコンセプションケア）を推進する。



### 3 健やかな心身につながる日々の健康づくり

- ・ 生活習慣病の発症・重症化を予防し、日々の健康づくりを支援する。
- ・ 身体機能や認知機能等、日常生活に必要な機能を保ち、低下を予防する取組を推進する。
- ・ 社会参加の促進等、こころの健康を支える取組の充実を図る。



# 6 健康すいた21(第4次)の概念図

基本理念

くらしにとけこむ健康づくりで、  
誰もが『自分らしく、笑涯、輝く』まちへ

基本目標

健康寿命の延伸

生活の質(QOL)の向上

基本方針3

健やかな心身につながる日々の健康づくり

食べる

動く・出かける

睡眠・こころの健康

歯と口腔の健康

アルコール

たばこ

身体を知る

基本方針1

全ての人の健康を支える社会環境づくり

人への働きかけ

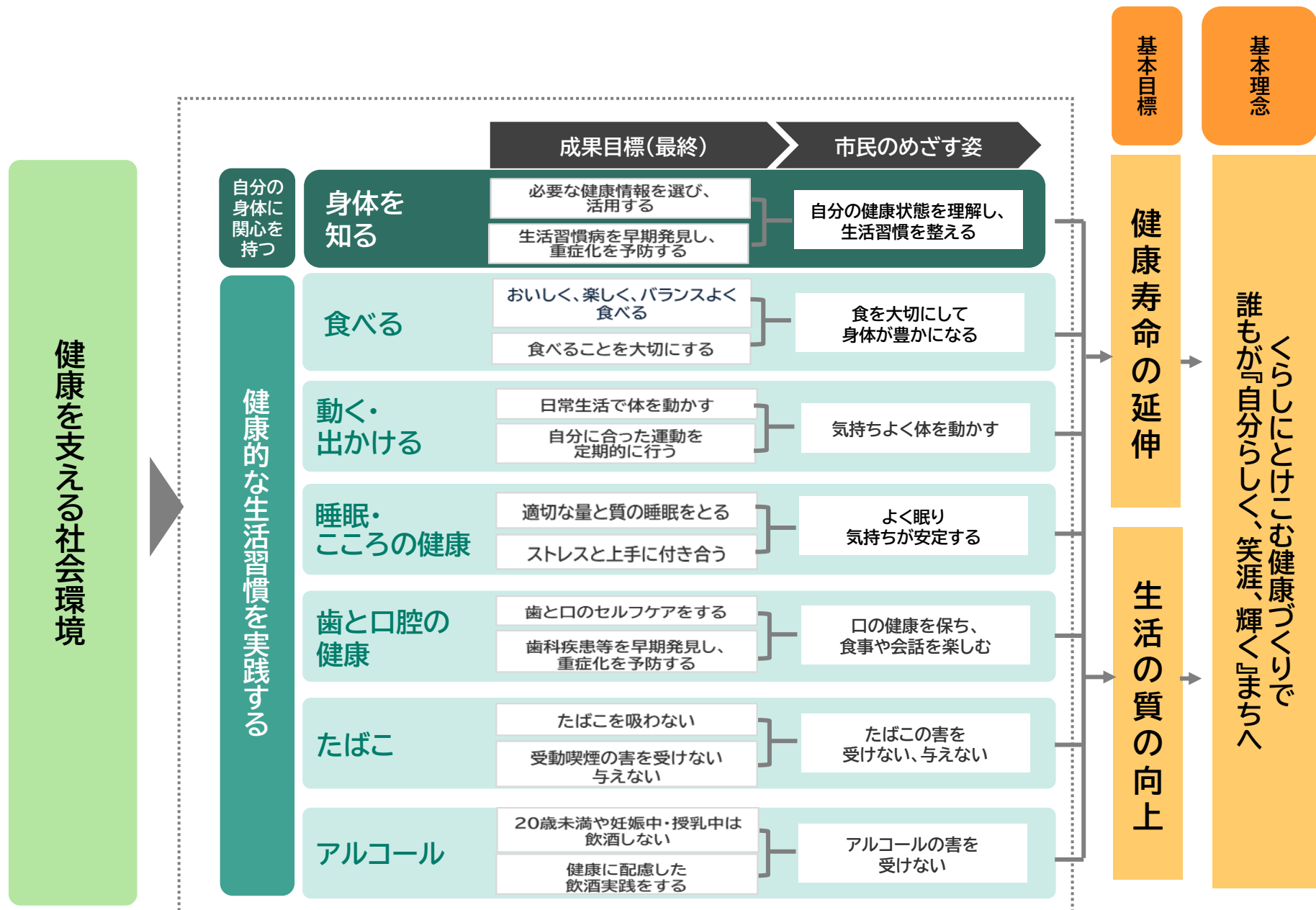
環境への働きかけ

基本方針2

ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり



# 7 健康すいた21(第4次)のロジックモデル



## 8 計画の構成比較

### 健康すいた21(第3次)

めざすべき将来像	自分らしく、笑涯、輝く
基本目標	健康寿命の延伸／生活の質(QOL)の向上
基本方針	<p>1 <u>全ての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防</u></p> <p>2 <u>ライフステージ別の課題に応じた取組</u></p> <p>3 <u>「楽しむ・輝く」をベースとした「暮らし」にとけこむ健康づくり</u></p>
分野	<p>○<b>暮らしにとけこむ健康づくり</b>    ○食べる</p> <p>○動く・出かける                      ○<b>眠る・癒す</b></p> <p>○歯と口腔の健康                        ○たばこ</p> <p>○アルコール                              ○<b>診てもらう</b></p>

### 健康すいた21(第4次)

基本理念	暮らしにとけこむ健康づくりで誰もが『自分らしく、笑涯、輝く』まちへ
基本目標	健康寿命の延伸／生活の質(QOL)の向上
基本方針	<p>1 <u>全ての人の健康を支える社会環境づくり</u> (1)人への働きかけ    (2)環境への働きかけ</p> <p>2 <u>ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり</u></p> <p>3 <u>健やかな心身につながる日々の健康づくり</u></p>
分野	<p>○<b>健康を支える社会環境</b></p> <p>○<b>身体を知る</b>                              ○食べる</p> <p>○動く・出かける                        ○<b>睡眠・こころの健康</b></p> <p>○歯と口腔の健康                        ○たばこ</p> <p>○アルコール</p>